

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日までに行った事業の概要は、次のとおりである。

1. 会 員 (令和5年3月31日現在)

区 分	令和4年度 会員総数	令和3年度 会員総数	令和4年度 入会者数	令和4年度 退会者数	前年度比
正会員 (営利法人)	123	128	0	5	(- 5)
(公益法人)	15	15	0	0	(0)
(個人)	312	309	21	18	(3)
公共会員	21	22	1	2	(- 1)
学生会員	5	3	2	0	(2)
賛助会員 (法人)	11	11	0	0	(0)
賛助会員 (個人)	0	0	0	0	(0)
合 計	487	488	24	25	(- 1)

2. 運営に関する会議

2.1 総 会

会議名	開催日時,方法	議 題	出席者
定期総会	令和4年5月30日(月) 10:00~12:00 Web会議システムを使用したオンライン開催	1. 審議事項 第1号議案 令和3年度事業報告(案)及び決算(案)について(貸借対照表・正味財産増減計算書等) 2. 報告事項 第1号報告 令和4年度事業計画及び予算書について	出席者数 261人 欠 席 202人 (正会員数 463人)

2.2 理事会

開催回数	開催日時,方法	議 題	出席者
第1回 理事会	令和4年4月21日(木) 10:00~12:00 Web会議	1. 審議事項 第1号議案 令和4年度総会の開催・議決権行使の方法について 第2号議案 令和3年度事業報告(案)及び決算(案)について(貸借対照表・正味財産増減計算書等) 第3号議案 価格表の改正について 第4号議案 会員の入会について 2. その他 第1号 学会の参加費検討について 第2号 令和4年度の表彰について	第1号議案 出席者数 10人 (理事総数 13人) 第2号議案から 第4号議案 出席者数 9人 (理事総数 13人) その他 出席者数 10人

第2号議案 令和4年度事業報告及び決算について

開催回数	開催日時, 方法	議 題	出席者
電磁的方法による理事会決議	開始日:令和4年6月6日(月) 承認日:令和4年6月13日(月) Eメール	1. 審議事項 第1号議案 令和4年度表彰について 第2号議案 技術史の販売価格の改定について 第3号議案 会員の入会について	審議事項 出席者数13人 (理事総数13人)
第2回理事会	令和4年10月24日(月) 14:00～16:00 Web会議	1. 審議事項 第1号議案 役員の改選(案)について 第2号議案 表彰規程の改正(案)について 第3号議案 旅費規程の改定(案)について 第4号議案 委員手当・講師謝金等支出基準の改定(案)について 第5号議案 嗅覚測定法内部精度管理試料の値上げ(案)について 第6号議案 会員の新規入会(案)について 2. 報告事項 第1号報告 令和4年度前期の事業報告について 第2号報告 職務執行状況報告について	審議事項 出席者数11人 (理事総数13人) 報告事項 出席者数12人
第3回理事会	令和5年3月15日(水) 15:00～17:00 Web会議	1. 審議事項 第1号議案 令和5年度事業計画(案)および令和5年度予算(案) 第2号議案 理事立候補者・監事候補者(案) 第3号議案 会員入会について 2. 報告事項 第1号報告 学会誌の冊子体(印刷物)廃止について 第2号報告 職務執行状況報告 3. 審議事項(理事提出議案) 第4号議案 学会参加料等の改定について	第1号議案から報告事項まで 出席者数12人 (理事総数13人) 第4号議案 出席者数11人 (理事総数13人)

2.3 運営検討会議

開催回数	開催日時, 方法	議 題	出席者
第1回 運営検討会議	令和4年4月18日(月) 14:00～16:00 Web会議	協会運営に係る諸問題について	出席者5人
第2回 運営検討会議	令和4年10月6日(木) 15:00～17:00 Web会議	協会運営に係る諸問題について	出席者5人
第3回 運営検討会議	令和5年3月6日(月) 15:00～17:00 Web会議	協会運営に係る諸問題について	出席者4人

2.4 業務別担当理事

理事の役割分担を明確化し、以て、事業の活性化、適正化を図るため、事業別の担当理事を設定した。令和4年度も次表の業務担当理事のもと、業務運営を行った。

名称	担当理事
総務担当	藤倉副会長
財務担当	上野理事
学会担当	光田理事
機関誌担当	喜多理事
人材育成担当	野村理事
精度管理担当	樋口理事
対策事業担当	祐川副会長、村上理事
調査研究担当	片谷理事、小峯会長
表彰担当	藤倉副会長、吉川理事
国際交流担当	樋口理事、榎本理事
判定資格担当	福山理事
新規事業担当	上野理事、榎本理事

2.5 環境マネジメントシステムの導入

協会の事業活動において、環境負荷を低減し、環境保全に対する意識を保持することを目的に、エコアクション21を導入し、環境経営活動を意識した協会運営を行っている。

本年度12月に中間審査を受け、ガイドラインに適合との評価を受けた。

2.6 業務の効率化

理事会をはじめ各種事業の会議については、コロナ感染予防のほか出席委員の移動時間の短縮化や交通費の削減につながることから原則Web開催とした。なお、臭気判定試験を伴う会議やセキュリティ上必要がある場合のみ対面開催とした。

臭気判定技術講習会（9月から10月）、技能向上研修会（2月）及び臭気対策セミナー（3月）についても、参加者の利便性向上等のためWeb開催とした。

またSDGs（持続可能な開発目標）の目標の一つ「8.働きがいも経済成長も」を踏まえ、職員のワークライフバランスの向上と交通費の削減等のため、在宅勤務と事務所勤務のローテーション勤務（出勤3名）とした。

3. 事業報告

3.1 公益目的事業1「普及・啓発・研究事業」

3.1.1 学会業務

におい・かおり環境学会（第35回）を8月30日（火）、31日（水）に開催した。本年度は、大同大学を会場とし、Web会議システム（Zoom）を併用したハイブリット開催にて行った。なお、懇親会は実施しなかった。

参加者は196人（前年度175人）、発表件数は口頭発表14題、ポスター発表20題（前年度：口頭発表11題、ポスター発表11題）、機器・企画展示は9社（前年度4社）であった。

3.1.2 広報・出版業

機関誌や書籍の出版を通じて、におい・かおりに関する調査・研究や悪臭対策技術の開発、行政の動向等に関する最新情報を社会に広く発信した。また、においで困っている一般の方に対して、基礎知識、におい・かおりに関する最新情報やイベント等の開催情報等の発信を行った。

a) 機関誌の発行

「におい・かおり環境学会誌」を令和4年5月から6回（No.283～288）発行し、会員に配布した。併せて電子版として、J-STAGE および医療文献検索サービス「メディカルオンライン」において閲覧可能とした。

冊子デジタル化ワーキンググループを立ち上げ、機関紙の冊子体（印刷物）廃止を検討した。

（特集タイトル）

No.283…特集1（Covidによる嗅覚感度低下メカニズムと生理）・特集2（嗅覚感度の簡易測定）、No.284…生薬・漢方薬のかおり、No.285…論文特集号、No.286…身近な動物のにおい（part1）、No.287…身近な動物のにおい（part2）、No.288…嗅覚のしくみに関する研究最前線

b) 書籍出版

におい・かおりに関する基礎知識、嗅覚測定法等の測定技術、悪臭対策技術等に関する書籍16種類を合計1,140冊（前年度1,076冊）販売した。

c) Webサイト

におい・かおりに関する最新情報やイベント等の開催情報等を掲載した。

3.1.3 人材育成業務

においかおり環境に関わる人材を育成するため、嗅覚測定法や測定精度の管理、臭気対策等の知識の普及を目的とした研修会・講習会・セミナーを開催すると共に、臭気指数や臭気強度の測定精度向上を目的とした技術研究会を開催した。

a) 臭気対策セミナー

事業者や臭気判定士、行政担当者等を対象に、臭気対策を中心とした知識の普及等を目的に、令和5年3月16日は「第1部アスファルト製造業における環境への取組と臭気対策」、3月17日は

「第2部事業場から発生する臭気予測と管理について」の内容で開催した。参加者数は第1部40人（前年度35人）、第2部51人（前年度34人）であった。

なお、本年度もWeb会議システム（Zoom）を利用した方法で開催した。

b) 臭気判定技術講習会

臭気判定士が有するべき知識の普及等を目的として、本年度もWeb動画共有サイト（Vimeo）を利用してオンデマンド配信形式の講習会を行った。動画閲覧期間（期間内であれば何回でも閲覧できる）は、9月6日（火）から11月10日（木）とした。

各コースの受講人数は次表のとおりであった。

令和4年度 臭気判定技術講習会の受講者数

コース（定員）	令和4年度	令和3年度
A.嗅覚概論	63人	61人
B.悪臭防止行政	65人	60人
C.分析統計概論悪臭測定概論+測定実務	64人	62人
D.悪臭測定概論+測定実務	66人	63人
E.模擬演習	56人	-※
	72人	65人

※令和3年度は、嗅覚概論と模擬演習を1科目として実施した。

c) 臭気強度研修会

新型コロナウイルス感染予防対策を講じながらの実施が難しく、本年度は開催しなかった。

d) 臭気指数研修会

新型コロナウイルス感染予防対策を講じながらの実施が難しく、本年度は開催しなかった。

3.1.4 測定精度確保業務

臭気に関わる測定精度を担保すると共に、さらなる精度向上を目的として、以下に述べるような測定事業所の審査・認定業務、嗅覚測定用器材に対する推奨マークの発行業務、技能研修会の開催などの業務を行った。

a) 臭気測定認定事業所に関する審査・認定

臭気に関わる測定精度の一定水準の確保、安全な測定が可能な事業所を協会が審査・認定する業務である。審査での必須項目は、組織の整備、人材の確保、必要な器材及び試験室の装備である。

認定は5年毎に更新を要することとしており、令和4年度は10事業所が更新対象であったが、1事業所は更新要件を満たさず、1事業所は更新を辞退したことから、更新は8事業所であった。

また、令和3年度から新規申請として取り扱っていた1事業所は合格となり、現在登録手続き中である。

この結果、令和5年3月31日現在の認定登録事業所数は61事業所、内、第1種が2事業所、第2種が59事業所となった。（1事業所が登録手続き中）

b) 嗅覚測定に用いる器材推奨マークの認証

嗅覚測定に用いる器材の生産者の自主的な品質及び性能の向上を図るとともに、使用者へ適切な器材に関する情報提供を目的とし、器材の品質及び性能を検査し、品質及び性能が嗅覚測定法に適合すると本協会が確認した製品への推奨マークの使用を許可する業務である。

器材の推奨は5年毎に更新申請をしており、令和4年5月ににおい袋1種、試料採取袋1種の登録更新を行った。

令和5年3月31日現在の器材推奨品は、におい袋が4種、試料採取袋が4種、パネル選定用基準臭が1種である。

c) 嗅覚測定法の精度管理に関する技能向上研修会の開催

嗅覚測定法の繰り返し測定時のばらつきや事業者間の測定誤差を低減するために、平成13年度から技能向上研修会を、平成14年度からは外部精度管理を毎年1回実施している。

108機関（前年度114機関）が参加した共同試験の測定データを解析し、測定結果の精度や真度を評価した。クロスチェックの講評を行う技能向上研修会（第21回）については、Web開催とし、2月24日及び2月27日の両日で116人（前年度104人）が参加した（2日間とも同じ研修内容。人数には1アカウントで参加し、スクリーンへ投影し複数名で聴講した機関も含む）。

3.1.5 臭気対策業務

悪臭対策を検討している工場や店舗が脱臭装置を導入する際の参考技術資料として、生産者ごとに異なる性能等の表示内容を同一基準により評価し、簡単に比較検討できる情報として、「ひと目でわかる『脱臭装置』選択ガイド」データベース、通称「脱臭ナビ」をWebで無料公開している。

登録されている脱臭技術は脱臭装置メーカーからの申請に基づいて、脱臭技術を評価したものであり、令和5年3月31日現在の登録数は5社、18技術である。

3.1.6 教育・啓発業務

におい・かおりに関する研修会の開催、催し物への出展を通じて、におい・かおりに関する基本的な知識の普及、情報提供を行うことを目的として、本年度は次表のとおり委員派遣等に対応した。

令和4年度 協会職員の委員派遣・講師派遣の実績

依頼元	時期	項目	内容
農林水産省生産局	令和3年1月～ 令和5年3月	委員派遣	総合的な悪臭低減、臭気拡散防止技術の開発
栃木県	令和4年10月～ 令和6年9月	委員派遣	栃木県廃棄物処理施設専門委員会
千葉市	令和3年5月～ 令和4年4月	委員派遣	環境影響評価委員
埼玉県北部地域環境事務研究会	令和4年7月27日	講師派遣	臭気指数測定実務研修会
(一財)畜産環境整備機構	令和3年7月～ 令和5年3月	委員派遣	畜産悪臭苦情軽減技術開発普及事業の事業推進（年2回の会議と現地調査）
特別区職員研修所	令和4年8月	講師派遣	23区職員への悪臭公害研修（Web）

3.1.7 かおり環境創造業務

環境省が三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングに委託して組織された「五感環境創出検討会」の委員に会長が就任して、令和4年度第2回検討会、ヒヤリングに出席した。「五感を総合化した環境の在り方を検討すべき。」との総論にとどまっている。

3.1.8 表彰業務

令和4年度の各賞の受賞者は次表のとおり決定した。表彰式は学会会場にてハイブリッド方式で行った。

また、表彰制度の見直しを行い、新たに奨励賞、グッドプラクティス賞を設けるとともに、におい・かおり環境賞をにおい・かおり文化賞に改編した。その他、永年在籍表彰を設けることとした。

令和4年度 表彰者

表彰部門	受賞者（敬称略、順不同）
功労賞	岩橋尊嗣（大同大学）
学術賞	佐藤忠章（国際医療福祉大学 薬学部）
技術賞	該当者なし
におい・かおり環境賞	該当者なし

3.1.9 国際交流業務

訪日した韓国環境公団からの3名の技術者に対して、令和4年12月13日は、株式会社環境管理センターにおいて、嗅覚試験を見学させた後、飲食店臭気に関するディスカッション、悪臭防止行政に関するディスカッションを行った。翌14日は新宿区内にある下水処理場施設において、脱臭装置等を見学させた。

3.2 公益目的事業2「支援・調査事業」

3.2.1 環境改善支援業務

令和4年度は、次表示す国、地方自治体、企業等からの依頼に基づく調査・研究等の業務を受託した。

令和4年度 環境改善支援業務

委託元	件数	業務内容
環境省	1件	悪臭公害防止強化対策検討業務 ・嗅覚測定法における現告示法の見直しに向けた検証 ・嗅覚パネルの選定に関する見直しに向けた検討 ・検討会の設置、運営
地方自治体	5件	A 臭気対策後のアフターフォロー調査(畜産対策) B 悪臭測定等研修委託 C 悪臭の測定方法に係る動画教材の作成委託 D 臭気アドバイザー派遣による臭気削減効果の調査委託業務（製造業） E 臭気対策アドバイザー派遣による臭気削減効果の調査業務（堆肥化）

委託元	件数	業務内容
民間企業	2件	住民説明会対応業務（事前打ち合わせを含む）及び消臭剤適用試験業務(畜産)
	1件	住民説明会対応業務(最終処分場)

3.2.2 技術支援業務

a) 臭気対策アドバイザー業務

においの測定や悪臭対策等に関する専門知識を有し、かつ一定以上の実務経験をもつ者を「臭気対策アドバイザー」として審査・登録し、地方公共団体や事業者等から悪臭対策等の相談があった場合、当該相談内容に相応しい臭気対策アドバイザーを選定・派遣している。

令和4年度は次表のような派遣業務を行った。

令和4年度 臭気対策アドバイザー調査依頼

依頼先	件数	内容
民間企業	2件	最終処分場（季節変動調査）
地方自治体	1件	養豚場
	1件	化製場

b) におい・かおり環境アドバイザー制度

臭気判定士資格保有者が、多様な問題に対しにおい・かおりの専門家として自由に広範囲な活動を可能とする協会独自の資格制度である。

令和4年度は資格取得のための講習会を Web 会議システム（Zoom）で開催し、5人が受講し資格を修得した。令和5年3月31日時点での登録者数は69人であった。

におい・かおり環境アドバイザーは毎年活動報告を提出することとしており、令和3年度は2,820件(令和2年度末までの活動実績の報告は、合計1,266件)であった。

3.2.3 災害対応支援業務

令和4年度に発生した次の災害について、災害時に発生する臭気問題に対して、当協会が相談窓口を設けた。

- (1) 令和4年8月前線による大雨、(2) 令和4年9月台風14号、(3) 令和4年9月台風15号

3.3 公益目的事業3「臭気判定士資格付与事業」

3.3.1 臭気判定士試験業務

本協会が悪臭防止法で定める臭気判定士の試験実施指定機関として、環境省から指定されていることを受け、令和4年度の臭気判定士試験問題の作成、試験運営を行った。

a) 令和4年度（第27回）臭気判定士試験

コロナ禍ではあったが、監督官及び受験者の検温、マスク着用、手指の消毒及び会場を広くし座席間隔を開けるなどの対策を講じることにより、開催した。開催後、感染者が発生したとの報告はなく、無事開催できた。

試験期日：令和4年11月12日（土）

試験実施地：東京都、愛知県及び大阪府

試験の内容：嗅覚概論、悪臭防止行政、悪臭測定概論、分析統計概論、臭気指数等の測定実務

受験申請者数：603人

合格者数：113人

合格率：21.3%（受験者数に対する合格者数の割合）

合格基準：次の条件を満たすこと

ア) 総合得点率70%以上

イ) 各科目別最低得点率33%以上

ただし「臭気指数等の測定実務」については、問31～38の8題（多肢択一）は33%以上、問39～44の6題（数値解答）は66%以上

令和4年度 臭気判定士試験の受験者数等

会場	東京	名古屋	大阪	合計	(参考) 前年度
受験申請者数(人)	295	118	190	603	555
受験者数(人)	253	106	171	530	483
合格者数(人)	57	22	34	113	140
合格率(%)	22.5	20.8	19.9	21.3	29.0

b) 試験問題と正答の公表

臭気判定士試験受験の正答を、令和4年12月12日（月）から令和5年2月13日（月）までの期間、Webサイトにて公表した。また、機関誌 No.287（令和5年1月発行）において試験問題と正答の掲載を行った。

c) 臭気判定士試験合否の通知

令和4年12月12日（月）に合格者に「合格証書」を、不合格者にはその旨を通知するとともに、各自の科目別得点と合否判定基準の郵送を行った。

3.3.2 嗅覚検査業務

臭気判定士免状の交付又は免状の更新時には、判定試験に適した嗅覚であるかどうかを判定する嗅覚検査を受け、合格証の提出が必要である。本協会では嗅覚検査を実施する他、関連書類と受検者名簿の作成管理を行っている。

嗅覚検査機関は協会を含めて全国に38機関あり、令和4年度に実施した嗅覚検査は651件（令和3年度705件）であった。

3.3.3 免状交付業務

臭気判定士免状の申請書類の管理、免状の交付、免状所有者名簿の管理や紛失などによる免状の再交付等を行っている。令和4年度までの免状交付状況は以下のとおりであった。

令和4年度における臭気判定士免状申請者等

	令和4年度末累計	令和4年度増減
臭気判定士試験合格者※1	5,858	113
臭気判定士免状所有者数	3,296	121
免状失効者数	2,126	95
免状未申請者※2	436	-8

※1 臭気判定技士 798 名を含む

※2 臭気判定士試験合格者（臭気判定技士を含む）のうち免状申請をしていない者

年代別、所有年数別（人）

	5年以下	10年以下	15年以下	20年以下	25年以下	30年以下	計
20代	104	12	0	0	0	0	116
30代	283	224	67	20	0	0	594
40代	144	226	323	353	111	13	1,170
50代	60	99	135	249	245	262	1,050
60代	11	17	23	55	64	142	312
70代	2	1	2	7	10	27	49
80代	0	0	1	0	1	3	5
計	604	579	551	684	431	447	3,296

令和4年度 事業にかかる委員会の開催状況

委員会名	開催方式	開催日	議題
におい・かおり環境学会委員会 第35回におい・かおり環境学会 第1回 第2回 第3回	Web会議 ハイブリット 対面会議	令和4年04月4日(月) 令和4年8月30日(火) 令和5年1月13日(金)	第35回の企画 第35回の学会打ち合わせ 第35回の総括
編集委員会 第1回 第2回 第3回	Web会議 Web会議 Web会議	令和4年06月09日(木) 09月13日(火) 令和5年02月28日(火)	機関誌の編集企画等について " "
表彰委員会 第1回 第2回	Web会議 Web会議	令和4年05月28日(日) 令和4年08月23日(火)	令和4年度表彰者の最終選考 表彰規程の改定案について
臭気対策アドバイザー委員会 第1回	Web会議	令和5年02月22日(水)	臭気対策アドバイザー資格認定試験方法等の検討
におい・かおり環境アドバイザー委員会 第1回	Web会議	令和4年10月24日(月)	認定講習会修了試験の合否について
臭気測定認定事業所審査委員会 第1回 第2回 第3回	Web会議 Web会議 Web会議	令和4年04月22日(金) 令和4年07月08日(金) 令和5年03月02日(木)	登録更新について 登録更新について 登録更新について
嗅覚測定用器材推奨審査委員会 第1回	対面会議	令和4年04月28日(木)	登録更新審査(1社2種)
臭気判定士試験委員会 第1回 科目別(A) 科目別(B) 科目別(C) 科目別(D) 科目別(E) 第2回 幹事会 委員長確認 合否判定作業部会 第3回	Web会議 対面会議 対面会議 対面会議 対面会議 対面会議 対面会議 対面会議 対面会議 対面会議	令和4年05月14日(土) 07月02日(土) 07月04日(月) 06月29日(水) 06月30日(木) 07月01日(金) 07月17日(日) 08月16日(火) 10月05日(水) 11月28日(月) 12月05日(月)	試験問題・解答の作成方法 試験問題・解答の作成 " " " " " 試験問題・解答の調整 " 試験問題の初校の確認 合否の為の資料作成作業 合否の判定作業
臭気判定士試験問題確認委員会 第1回 第2回	対面・書面 対面・書面	令和4年07月31日(日) 08月27日(土)	試験問題の確認 "
嗅覚検査委員会 第1回	Web会議	令和4年04月22日(金)	嗅覚検査実施報告